

袋井駅南まちづくり

未来へつなぐ魅力あるまちへ「生涯にわたる健康生活のまち・歩いて楽しいまち」

[事業の概要]

- ・袋井駅南北自由通路等新設事業については、平成26年度当初は、前年度に引き続き外装工事と内装工事を行い、駅南地区で進めている南口駅前広場の工事と合わせて、秋頃の供用開始目標に事業を進めていく。
- ・袋井駅周辺をモデルに“まちなか”を楽しく歩くための環境づくりと都市基盤整備に向けた計画を策定していく。
- ・袋井駅南都市拠点土地地区画整理事業は、道水路の整備が不十分なまま市街化が進み、地震や火災など防災面に大きな課題を抱えている約8.7haの当地区において、南北自由通路、橋上駅舎及び駅南口広場の整備にあわせて、土地地区画整理事業により、都市計画道路をはじめ区画道路、公園、水路等の公共施設の整備改善を図り、市の顔としてふさわしい都市拠点としての魅力ある地区とすることを目的に、本年度の事業化を目指す。

予算額

・袋井駅南北自由通路等新設事業	130,033千円
・袋井駅南口広場整備事業	150,000千円
・袋井駅南都市拠点土地地区画整理事業	8,000千円

顔づくり・交通・連携 (自由通路及び橋上駅舎)

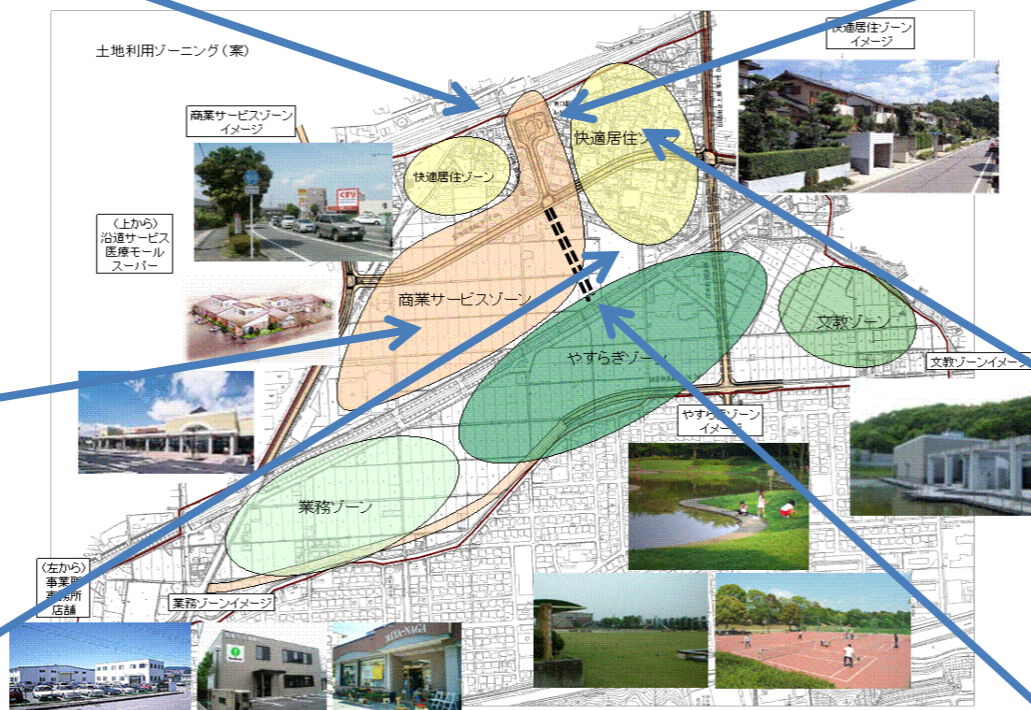
◇ 総事業費 約31億円、南北自由通路:延長約90m、幅員6m、エスカレーター4基、エレベーター2基、橋上駅舎:エスカレーター2基、エレベーター1基



袋井駅南まちづくり計画

「にぎわいとうるおいのある健康的な都市空間の創出」

市の顔となる玄関口にふさわしいにぎわいの充実を図るとともに、うるおいのある良好な居住環境の形成、また、生涯にわたる健康生活のための魅力的な都市環境の整備を進めていく。



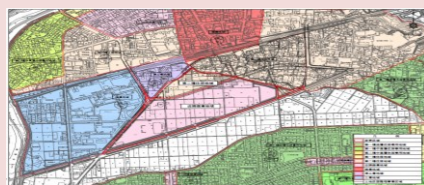
顔づくり(駅前広場整備)

◇ 広場面積3,800㎡、交通空間面積1,720㎡(一般駐車場3台、身障者駐車場1台、バスバース2台、タクシーバース3台、タクシー待機場6台)、環境空間面積2,080㎡、シェルター113m、照明灯等、総工事費3億円



にぎわいの充実 (用途地域・地区計画)

用途地域・地区計画の設定により、適正な土地利用を誘導する。商業サービスゾーンには、日用品、飲食、娯楽等を中心とする商業施設やサービス機能を配置する。



うるおい(区画整理事業)

◇ 施行面積 8.7ha、施行期間 平成26年度～平成40年度、総事業費 57.6億円、公共施設 道路築造 L=2,584m、公園整備 A=2,800㎡、水路築造A=3,076㎡、組合員数171名、減歩率25.1%



安心・安全(治水対策)

市民の安心安全を目標に、浸水被害の軽減を図る。

- ・田端東調整池の拡大
- ・開発区域内の雨水貯留
- ・高尾放水路の整備

うるおい(景観形成事業)

- ・都市の玄関口にふさわしい美しい街並みの形成
- ・緑化や無電柱化に取り組みます。

安心・安全(バリアフリー推進事業)

- ・高齢者や障害者をはじめとした全ての人のくらしやまちづくりの実現
- ・段差解消、視覚障害者誘導ブロック等の設置

健康(歩いて楽しいまちなかプロジェクト) (再掲)

袋井駅周辺をモデルに「歩く」を核とした健康文化の形成と「歩く」視点から見た都市基盤や自然環境の整備を図ることにより、市民の健康長寿と“まちなか”の活性化を目指す。